

あすなろ通信 35号

編集 NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろ
事務局 〒728-0006 三次市畠敷町 36 番地 7
(TEL 0824-55-6301 FAX 0824-55-6302)

発行日 2018 年 4 月 28 日

今月のことば

子曰く、
学^{まな}びて思^{おも}わざれば即^{すなわ}ち闇^{くら}し
思^{おも}いて学^{まな}ばざれば即^{すなわ}ち殆^{あやう}し

学ぶだけで、自分でよく考えない
と本当のことがわからない。
自分で考えるだけで学ぶことを
しないと自分勝手な考えになってしまう。

あすなろメソッドの確立を

あすなろ塾 塾頭
(数学担当) 影山克典

二〇一八年度がスタートしました。スタートにあたり、「あすなろ塾」の基本的な考え方と私たちスタッフの決意を述べることで、年度初めのご挨拶とさせていただきます。

「あすなろ塾」は「経済格差を教育格差にしない」を合い言葉に、二〇一一年に設立され、今年度で八年目となります。

現在の組織構成を示しておきますと、

まず「特定非営利法人 みよし子育て・学び支援あすなろ」があります。その中に「学力支援教室（中学部）」「地域連携事業」「元気教室」があり、この学力支援教室（中学部）を「あすなろ塾」と呼んでいます。現在の「特定非営利法人 みよし子育て・学び支援あすなろ」の活動内容のほとんどは「あすなろ塾」の活動ですから、「特定非営利法人 みよし子育て・学び支援あすなろ」と「あすなろ塾」を同一視して語ることも多くあります。このような「あすなろ塾」ですが、ここで活動する私たちスタッフがまず最初に認識しておかなければならないことは、「経済格差を教育格差にしない」という

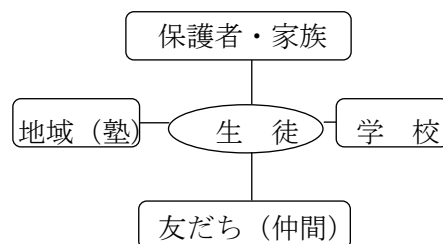
「あすなろ塾」の思いは、実は保護者の方々こそが一番強くもたれている思いであり、私たちの活動はそのような保護者の方々の思いに応えるものであるということだということです。

このことを大前提に、以下私たちの考えを述べていきたいと思います。

「教育格差」の中味を説明するとなると複雑になりますので、これを端的に言いますと「学力格差」と言えます。すなわち、私たちの使命は人間力を含めた学力（これは「学習力」と言い換えても良いと思います）を高めることだと考えています。

そのために必要なことは、なんとと言っても生徒本人の努力です。これなしに目標は達成できませんが、この努力を継続していくうえで必要なことが二つあります（もちろんこれだけではありませんが）。一つ目は、成績という結果の原因を自分の努力以外に求めない、二つ目は、自分だけ良くなれば良いという考えを捨てるといことです。

また私たちは、生徒本人の努力を支える（人間的成長を促す）教育環境の整備も同時に必要だと考えます。生徒本人を支え、影響を与える環境を図て示ますと次のようになります。



これらすべての環境整備に「あすなろ塾」が取り組めるなどという大それた考えは持っていませんが、保護者との連携、地域の支援（寄付、企業の地域貢献等）の充実には取り組めると考えています。そしてもちろん、塾としての中味を充実することで生徒の頑張りに応じていかなければならないと決意しています。

この塾としての支援とは、具体的には次の六点です。

- 授業料を安くする。
- 専門のスタッフを集める。
- 補習等のバックアップ態勢を整える。
- 保護者の協力を求める。
- 地域の人々の寄付や企業の支援をお願いする。
- 塾としても地域貢献活動を実施する。

私たちは生徒の頑張りを以上のような態勢で支える、その中で生徒が学習力を高めていく、このような方向性をめざしたいと考えています。これがあすなる流の生徒育成法、すなわち「あすなるメソッド」と呼べる教育手法だと考えています。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



初めまして

あすなる理科講師 山根浩史



今年度から、井田先生の後を引き継いで理科を担当することになりました山根浩史(ひろし)です。よろしくお願いいたします。

県北の高校六校で三十七年間、理科の教員を勤めた後、昨年度までの三年間、地元の小学校の放課後児童クラブで支援員をしていました。従って、中学生の教科指導は初めてですが、みなさんの実力アップに貢献できるよう頑張りたいと思っています。

さて、ちよつと難しいですが、小・中・高で皆さんが学ぶ「理科」は教科名であり、自然科学の四分野をまとめた時の呼び方です。つまり、第一分野は「物理」「(物理現象に関する科学)と「化学」(物質に関する科学)、第二分野は「生物」(生命に関する科学)と「地学」(地球・宇宙に関する科学)の分野です。(ちなみに高校では「物・化・生・地」に科目が分かれています。)この中で、とりわけ「物理」は自然現象を数学を使って理解する科目なので苦手な人が多いかもしれません。しかし、物は考えよう。計算力のアップにつながると前向きに考えましょう。「化学・生物・地学」は計算問題は少なく、知識中心ですが、理解・表現などの国語力が必要です。

ところで、私の専門分野は「生物」ですが、勤務した県北の小さな高校ではすべての分野を教えた経験があります。できるだけ苦手な分野を作らないよう、教える側と学ぶ側が一緒に努力しあって「あすなる塾での学び」を有意義なものにしていきたいでしょう。

追伸

数ある趣味の一つ(山野草栽培)

四月下旬開花の「我が家の山野草」

エビネ

シロヤマブキ

イワチドリ

ヤマシヤクヤ

ヒトリシズカ



2018年度 塾 生 募 集 あすなる中学部

○少人数&個別指導で学べます。

○コースは2種類。

◇英数コース(週2回)

月14,000円

◇理社コース(週1回)

月6,000円

○授業料減免措置があります。

◇ひとり親家庭は半額免除

◇生活保護家庭は全額免除

○あすなる塾は授業料以外の経費(テキスト, 模擬試験, 夏季講座等)は徴収いたしません。

入塾受付

期間 随時(ただし、火・水・金曜日)

時間 16:30~18:00

場所 あすなる塾

○電話でも受け付けます。

Tel 0824-55-6301



勉強のコツ（２）

あすなろ通信 34 号では勉強のコツと題して理科と社会の学習方法、取り組む姿勢を特集しました。今号では数学の学習方法、取り組む姿勢について掲載します。

数学の学習法

数学を勉強するうえで絶対におろそかにしてはいけないものは「定義」（言葉や記号の意味）と「基礎的計算力」です。これを曖昧にしたままでの勉強はとても効率の悪いものになります。別の角度から言えば、「定義」と「基礎的計算力」をきちんと身につけていけば、その生徒の実力は飛躍的に伸びることは間違いありません。

たとえば $(\sqrt{5})^2$ の計算（中学三年）を考えてみます。まず $()^2$ は $()$ を2乗する、すなわち二つかけるという意味です。さらに $\sqrt{5}$ は「2乗したら5となる数のうちで正の方」というのが定義ですから、 $(\sqrt{5})^2 = 5$ です。この計算を $(\sqrt{5})^2 = \sqrt{5} \times \sqrt{5} = \sqrt{25} = 5$ とやっても間違いではありませんが、定義を踏まえてやる方がはるかに簡単にできますし、応用がききます。これは定義をきちんと認識しておけば基礎的計算力も定着するという例です。

続けて次の問題を見てください。

x についての方程式

$$-3x-6=\frac{1}{2}x+5a$$

の解が $x=4$ であるとき、 a の値を求めなさい（中学一年）。

この問題の場合、どのように問題に取り組めばよいかがわかりにくい問題です。そのような時こそ「定義」が重要となります。

「方程式」とは、 $=$ （これを等号と言います）で結ばれた式（これを等式と言います）のうちで、 x に代入する値によって $=$ が成り立ったり、成り立たなかったりする等式のことです。また「方程式の解」とは、方程式の $=$ が成り立つ値のことです。

たとえば、 $3x-2=7$ という等式は、 $x=3$ ならば左辺（左側の式） $=$ 右辺（右側の式）となり、 $=$ が成り立ちます。ところが $x=2$ ならば、左辺 $=4$ 、右辺 $=7$ となり、 $=$ が成り立ちません。このように x の値によって $=$ が成り立ったり、成り立たなかったりする等式を「方程式」と言い、 $=$ が成り立つ x の値のことを「方程式の解」と言います。

先の問題の場合、「解が $x=4$ であるとき」と言っているわけですから、 $x=4$ をこの方程式に代入すると、この方程式は成り立つと言っているわけです。だから代入してみればいいわけです。

代入すると、以下のようにたちまち a の値を求めることができます。

$$-3 \times 4 - 6 = \frac{1}{2} \times 4 + 5a, \quad -12 - 6 = 2 + 5a, \quad -20 = 5a, \quad 5a = -20, \quad a = -4$$

これは定義が分かっているれば応用がきくという例です。

そもそも数学という学問は、定義→定理→応用と展開する学問なのです。したがって定義を大切にする勉強法は、まさに数学の王道をすすむ勉強法だと言えます。話が少し大げさになりましたが、生徒のみなさんはここに述べたことを参考にし、自分なりの数学の勉強法を確立してもらいたいと考えています。

NPO法人あすなろ・賛助会員募集

賛助会員：ボランティア活動はできないが、寄付金等でご協力いただける企業や個人。

個人年会費：1口（5,000円）以上

企業等年会費：1口：（10,000円）以上

特典：あすなろ通信送付（年3回発行）

問合せ：あすなろ通信の発行住所と同じ TEL・FAX とも。

最近、テレビや新聞で「旧優生保護法」

に関する問題がいろいろと報じられて

います。その問題とは、宮城県の六十代

の女性が、「個人の尊厳や自己決定権を

保障する憲法に違反する」として訴えを

起こしたことで明らかになりました。女

性は幼い頃の麻酔治療の後遺症で重い

知的障害が残り、十五歳で強制手術を受

けさせられました。大人になり縁談があ

ったときも、不妊手術をしていることが

原因で破談になったそうです。

私を含めて皆さんは、知的障害者や精

神障害者への強制不妊手術を法で認め

た「旧優生保護法」という法律が、つい

一九九六年まで半世紀以上も存在して

いたことをご存知でしょうか。色々と問

題点がありますが、特に問題となってい

たのが、第三章の「一定の障害がある子

どもが生まれる事が予想される場合に

人工妊娠中絶を認める」というもので、

障害を持つて生まれる事が予想された

からといって、その生命の誕生する権利

を侵害してもいいのか？という事です。

旧優生保護法は、ナチス・ドイツの

「断種法」がモデルの国民優生法が前

身です。私も元教員の端くれですから、

戦後のドイツの教育について調べた事

があります。ドイツでは「二度と過ちを

おかさない」という強い信念のもと、歴

史教育を学校と社会で、徹底的に行なっ

ています。また強制収容所についても

学ぶことが義務づけられていますし、近現

代史にも多くの時間がさかれています。「

これでもか」と言うぐらい過去の歴史と

向き合う取り組みが行われているのです。

片や日本はどうでしょうか？そもそも

日本は「過去」を振り返ることを、なお

ざりにしてきました。従軍慰安婦問題し

かり、南京大虐殺事件事件しかりです。

なおざりどころか、歴史を歪曲し隠ぺい

までしようとしています。（ちよつと話

が大きくなりました）

今回の問題がニュースで報じられる中、

私の周りのほとんどの人が「そんな法律

があったの？」という発言をしています

した。私も二十年前小学校教員として働

き障害児とも関わりを持っていましたが、

「優生」という極めて問題のある法律が

改正されたことはまったく記憶にないの

です。今私は社会福祉法人の障害者施設

で働いています。こういう施設で働きた

したから余計今回の問題には興味を持

ちいろいろと調べてみました。知れば知

るほど腹立たしく、怒りがわいてきます。

「無知であることほど、罪なことば

ない」という言葉をよく聞きますが、

中国新聞の取材を受けました。

（二〇一七年一〇月三日掲載）

秋の夜、三次市内の民家
むと志がのぞく。「家庭環
境にかなりが漏れる。
高校受験に向け、中学3年
の8人が数学のプリントを
こなす。分らないと、影
山克典さん(63)の机まで行
き、丁寧な説明を受ける。
人親家庭は半額、生活保護

未来への明かり

もう一つの教室では、中2
の3人が守本秀樹さん(63)
から英語を習う。2室しか
ない「あすなろ塾」。教師
2人とも元高校教員だ。
普通の中学生向け学習塾
に見えるが、入塾案内を読
さん(63)たちが開いた。塾

潮流

三次支局長 中井幹夫

に行きたくてもいけない子
を対象に「経済格差を学力
格差にしてはならない」と
いう理念を実践。黒田さん
は「彼らを救わなきゃ、誰
も助けてくれない」と話す。
その思いに感動した。
運営は簡単ではない。授
業料だけでは成り立たず、
地元企業の寄付などに支え
られている。それでも赤字
で補助金を市に申請中だ。
他の学習塾に対する「民業
圧迫」との声もある。塾頭
の影山さんは「本来は行政
の仕事。より教育の必要
な生徒には十分な教育を保
証したい。」

ご支援をいただいている

企業・団体

- ・ ミヨシ電子株式会社
(三次市東酒屋町)
- ・ ㈱三次衛生工業社
(三次市四拾貫町)

ご支援いただいた皆様

- ・ 山田公主 (三次市畠敷町)
- ・ 瀬戸三歳 (三次市三良坂町)

